

「仙台 Bosai-tech Lounge」に参加・講演しました (2025/2/5)

テーマ: Tsunami Balloon, 防災のジレンマ

会 場:仙台市内

URL: https://sendai-bosai-tech.jp/event/detail/---id-84.html

2025 (令和7) 年2月5日 (水) 仙台市が主催する仙台 BOSAI-TECH Lounge (BOSAI-TECH 交流会) が仙台市内で開催され、当研究所から成田峻之輔氏(津波工学研究分野・博士課程1年) が講演を行いました。

この仙台 BOSAI-TECHは、防災×テクノロジー×ビジネスを融合した新たな防災課題の解決策を持続的に生み出す場として 2022 年 2 月に設立され、アイディア創出や試作開発・実証実験のサポート、ビジネスマッチング、情報発信、交流会など多岐にわたる活動を通じて防災関連事業の創出と「BOSAI-TECH イノベーション・エコシステム」の形成を図っています。仙台市はこのプラットフォームを通じて、仙台防災枠組」が掲げる理念の実現と防災関連産業の発展の両立を目指しており、当研究所は設立当社から支援を行っています。

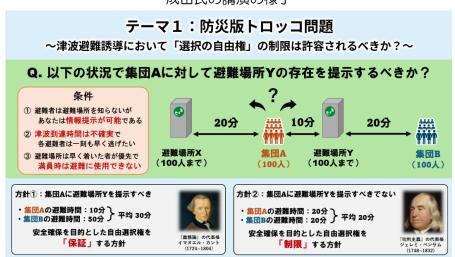
今回の BOSAI-TECH Lounge は会員以外も参加できるオープンな情報交換や参加者同士の自由交流を目的にした集いとして開催され、冒頭の仙台市経済局産業振興課の大庭恵弥課長からのご挨拶の中で、招待参加していた今村文彦教授(津波工学研究分野)も紹介されました。その後、アイリスオーヤマ株式会社や株式会社宮城テレビ放送の防災に関する取り組みの講演にならんで、成田氏は自身の研究している津波避難施設を案内するバルーンを使用した避難誘導の研究に絡んで、防災に関する倫理的なジレンマを「防災版トロッコ問題*」として紹介して好評を博しました。

講演の後は活発な交流が行われ、講演者の成田氏にも多くの企業等が質問や技術の紹介等のために訪れ、防災推進の気運の醸成に貢献しています。

※「ある人がリスクを負うことで全体のリスクが減るかもしれない場合、その人へのリスク 負担はどこまで許容されるべきか?」という、不確実性を持つ事象における功利主義と 義務論の対立を扱った倫理学上の課題



成田氏の講演の様子



文責:鎌田健一(地震津波リスク評価(東京海上日動) 寄附研究部門)